

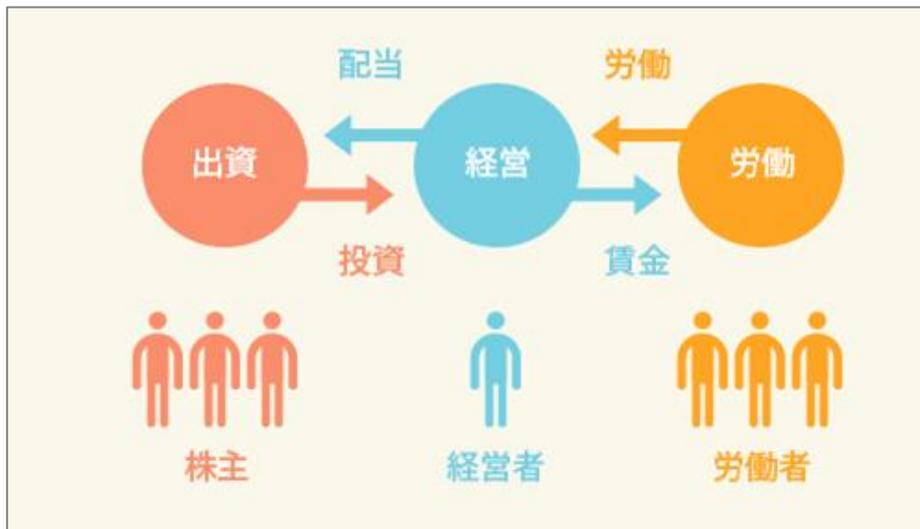
# 誰もが安心して働くことができるまちづくりを 目指したワーカーズコープの取組

日本労働者協同組合連合会センター事業団  
埼玉事業本部 埼玉西南エリアマネージャー  
須賀貴子

# ワーカーズコープ（労働者協同組合）とは

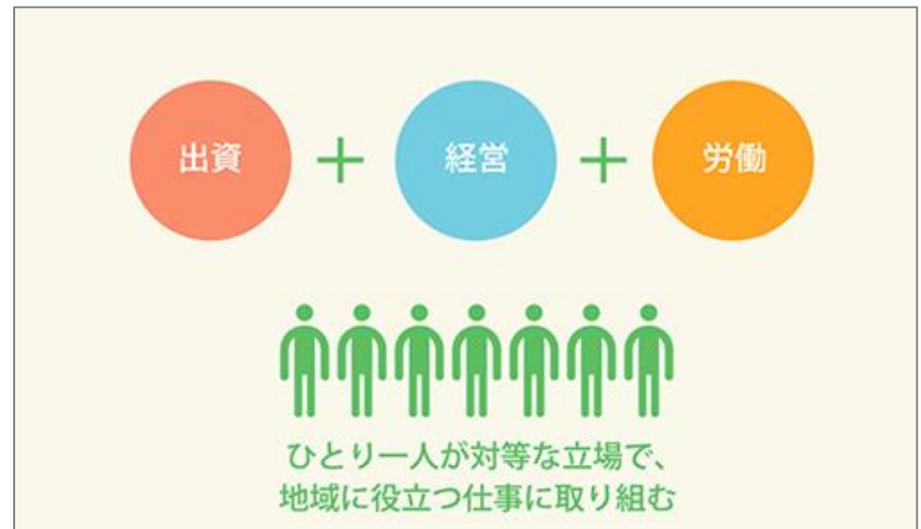
## 株式会社

の仕組み



## ワーカーズコープ

の仕組み



2022年10月1日施行

# 労働者協同組合法（第1条）

この法律は、各人が生活との調和を保ちつつその意欲及び能力に応じて就労する機会が必ずしも十分に確保されていない現状等を踏まえ、組合員が**出資**し、それぞれの**意見を反映**して組合の事業が行われ、及び組合員自らが**事業に従事する**ことを**基本原理**とする組織に関し、設立、管理その他必要な事項を定めること等により、**多様な就労の機会を創出**することを促進するとともに、当該組織を通じて**地域における多様な需要に応じた事業**が行われることを促進し、もって**持続可能で活力ある地域社会の実現**に資することを目的とする。

# 私たちが大切にしていること

1. 働く人が「出資」「経営（運営）」「労働」の全てを担う
2. 「あったらいいな」「やってみたい」ことを、カタチにする（仕事おこし）
3. 利用者、地域、事業所で必要な仕事、改善点は、みんなで話し合う
4. もちろん、事業を継続するためには利益を得られるように努めます
5. しかし、私たちが求めるものは、互いに認め合い、支え合い、自分らしく働けること
6. そして、「働くこと」を通して地域を元気にすることです
7. 組合員も地域に暮らす市民です。市民の力でよりよい暮らし・地域づくりを目指しています

協同労働

# 実践紹介

事業所名	埼玉西部地域福祉事業所 (森の102工房・森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房)
自治体	所沢市 (最寄り駅：航空公園、西所沢、狭山ヶ丘)
開所日	2012年7月15日
理念	障がいの有無関係なく、誰もが安心して働き、暮らしていける地域づくり
仕事内容	●とうふ製造・販売 ●就労継続支援B型 (菓子製造・販売、農作業、手しごと、清掃、事務処理)
就労者数	就労者数49名 (組合員 22名、就B 27名)

2012年 とうふ・ゆば製造・販売  
 (2019年 製造大幅縮小)

2018年 狭山ヶ丘店 オープン

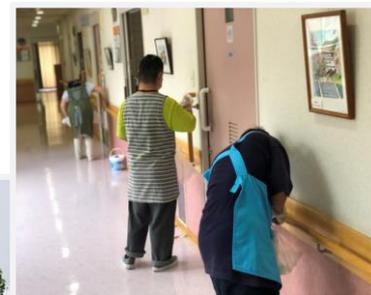
2018年 移動販売車 スタート

2015年 就労継続支援B型 開所  
 (菓子製造・販売)

2017年 農業

2019年 高齢者施設消毒

2021年 事務作業



# 立ち上げの経緯

- 2009年『ガイアの夜明け』で“深谷とうふ工房”が放映。
- 現在の大家さんから法人本部へ電話が入る  
「うちもとうふ屋をやっていた、是非もう一度やりたい」  
「障がいのある方も働いていた」
- 生活保護受給者・働きたくても働けない若者の増加、派遣切り

とうふ屋  
継業

×

働きたくても  
働けない



## 【立ち上げメンバー】

生活保護受給者	5名
派遣を転々した若者	1名
働くことに困難さがある	2名

# 開所後すぐに閉鎖対象事業所に . . .

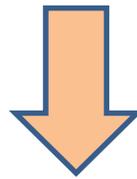


とにかく**販路拡大**。  
新店舗オープンの情報を  
聞けば、**営業**。  
フェイスを**死守**。

- ・ 毎月1回 全組合員による団会議
- ・ 「ともに働く仲間」
- ・ 情報はオープンに
- ・ すべて文章化（可視化）
- ・ 全就労者で話し合い
- ・ 話し合いの中心は、  
  どうしたら“働きやすくなるか”
- ・ 「閉鎖する？」  
  「いやいやいや、それはできないでしょ」  
  の繰り返し
- ・ 仕事おこしの可能性を探る etc…

# 感じ始める“矛盾”

- 生産性の向上・効率優先
- 働くことに困難のある仲間を失う
- 「働きたい」相談は来るが、受入れられない
- 売上は伸びたが支出も増加、売上の頭打ち



もう一度、理念に立ち返ろう！

「多様な仲間が自分らしく働ける場、地域をつくる」

2015年

## 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房立ち上げ

<<開所以来大切にしていること>>

「まちのお菓子屋さんに障がいのある人も働いている」

そんな風景が当たり前の社会になるように

施設ではない**自慢**できるお店づくり：

「かわいい」「すてき」「おいしい」「たのしい」

一人ひとりが事業所・地域をつくっていく**主体者・主人公**



# 2018年

## 森の102工房 狭山ヶ丘店オープン

- 他店に納品・・・販売手数料約3割！
- いくら頑張っても、手数料分マイナス
- 廃棄は出したくない、でもフェイスは守りたい・・・矛盾
- 林の中でお客が来ない
- 立地が良いところで、自由に売りたい！
- 森のとうふ工房・菓子工房を発信できる拠点がほしい！
- 地域の特産品も並べたい！



お店の外観  
ちょっと小洒落たとうふ屋さん (イメージ)



自分たちで育てた野菜や  
地元の新鮮野菜も販売



農福連携で出来た製品

# 2017年 農業への挑戦



生産緑地の整備



化粧箱折り

狭山茶農家のお手伝い



山田ファーム～みんなで育てる畑～  
近隣の保育園の子どもたちの芋ほり体験



茶畑の耕耘

# 落ち葉掃きたい肥作り と 里山保全

←日本農業遺産 落ち葉たい肥作り

↓山田ファームの皆さんと  
トトロの森保全活動



# カレイドスコーププロジェクト (所沢農福商消連携協議会)



地域の複数の畑で  
麦農林61号を栽培

生産

地元パン屋で  
丸パン・食パン



経済

福祉

暮らし

消費

加工



菓子工房でおからクッキー

- ★地元の紅芋使用
- ★紅芋パウダーは他の就Bで加工

# 協同労働・地域づくりの原点

## ひとりの困りごと

- 働く場の存続！
- 話し合いの中心  
「どうしたら働きやすくなる？」
- 一人ひとりに合わせた働き方
- 「困ったら、仕事おこし」



# 協同労働の可能性①

出資して、働いて、みんなで話し合うから・・・

ごちゃまぜ  
多様性

柔軟な働き方  
(ライフステージ、  
個性に合わせて)

自主性・当事者性  
の回復

「困ったな」  
「あったらいいな」  
の実現

地域づくりの  
担い手

# 協同労働の可能性②



森の102工房  
継業  
×  
就労支援



菓子工房  
障がい者  
就労支援



狭山ヶ丘店  
地域の  
とうふ屋



農福連携①  
遊休地の活用  
狭山茶農家との  
連携



新規現場立上げ  
当事者主体の  
居場所と  
地域づくりへ



高齢者施設  
の消毒  
地域の仕事  
の担い手



農福連携③  
農福商消連携



農福連携②  
里山保全

